



Information

9・17日朝ピョンヤン宣言18周年集会「朝鮮戦争の終結と日朝国交正常化の実現を」

9月17日(木) 18:30～ 文京区民センター 3A (春日駅、後楽園駅) 講演・対米従属の源流－朝鮮戦争と日米安保:布施祐仁(ジャーナリスト)、特別報告・生み出され続ける朝鮮学校差別2010～2020:朴金優綺(在日本朝鮮人権協会) 800円 「朝鮮半島と日本に非核・平和の確立を」市民連帯行動 03-3526-2920、070-6997-2546

9.18さようなら原発首都圏集会

9月18日(金)開場17:30 オープニング18:00 開会18:30 デモ出発19:15 日比谷公園大音楽堂(日比谷野音)(霞ヶ関駅、日比谷駅) 「さようなら原発」一千万署名市民の会 03-5289-8224

あなたが食べているパンは大丈夫?～農薬グリホサート汚染の実態

9月26日(木)13:30～15:30 連合会館201会議室(新御茶ノ水駅、淡路町駅、小川町駅、御茶ノ水駅) 講演・農薬グリホサート汚染から見えてきたもの:天笠啓祐(ジャーナリスト)、食塩中のマイクロプラスチック残留検査発表(予定):守屋由紀枝(環境カウンセラー) 1000円 要予約 03-5155-4765 食の安全・監視市民委員会

これからの反核運動を考える9・29練馬の集い

9月29日(火)19:00～ ココネリ区民・産業プラザ研修室1(練馬駅) 米中核軍拡競争と敵地攻撃力保有の動きの中で お話:湯浅一郎(ピースデポ) 500円 呼びかけ:戦争に協力しない!させない!練馬アクション有志 090-5208-5803 (池田)

PCR検査は、検査の人数が多いのは、調整中の人が多いのは、PCR検査の結果が出るまでに1～2日かかること、入院・宿泊療養



都政フォーラム「ゲノム編集食品 何が問題?」で報告する、都議山内れい子と、国分寺市議の高瀬かおる、岩永やす代、国立市議のこはまかおる(2019年10月)。参加の場を共有するフォーラムの開催は困難だが、国立・国分寺の両ネットでは、コロナ禍や5Gを始めとする喫緊の政治課題について、オンライン学習会やWEBアンケートなどに取り組んでいる

府中発!地域の居場所づくりと居住支援の取り組み NPO法人ACT(アビリ

「えんがわ家」は空き家を使っ

さらに、府中地域協議会では、居住支援の取り組みを進めています。高齢者や障がい者、ひとり親家庭など困難を抱える方の支援は住まいだけではなく、生活支援にもおよびます。より手厚く一人ひとりに寄り添う支援を

編集後記/原爆投下から75年目の夏を迎えた。原爆被害の悲惨を二度と生まないためには、核兵器の全廃が必須だが、現在世界が保有する核弾頭は1万3400発、原爆材料となる核物質は10万9060発分。とくに余剰プルトニウムは530トン、うち日本が民生用原子炉で生み出したプルトニウムも41.7トンとピークに達している。今年1月、世界の「終末時計」の針が午前零時まで残り100秒となった。一方、国連核兵器禁止条約は発効に必要な批准50カ国まで残り7カ国となった。日本政府は原爆被爆国の義務として核廃絶をターゲットに条約発効に向け力を尽くすべきである。憲法9条を名実ともに世界の理想とするためにも、SDGsが掲げ、世界が希求する持続可能な開発目標の、その根幹に核兵器の全面放棄を据え具体策を講ずるときである。(加藤)

都議会REPORT

高齢者・障がい者の新型コロナ感染症対策を急げ

東京・生活者ネットワーク都議会議員

山内れい子 [国立市・国分寺市]



新型コロナウイルスの感染が止まらない。地域で暮らす障がい者、在宅を支える介護保険事業者などから、感染症対策に関する東京都への要望が、都議会生活者ネットワークに届いている。

新型コロナウイルス感染症の新規陽性者が増え続ける中、東京都は軽症者・無症状者のための宿泊療養施設(ホテル)を拡充しているが、自宅療養の人が一向に減らないのはなぜか。都の発表では、8月16日時点で、都内の入院患者は1605人、宿泊療養288人。自宅療養693人、入院・療養等調整中が1029人。陽性者の約1700人が自宅で過ごしていることになる。

育児・介護の心配せずに安心して療養できるしくみ

都は軽症・無症状であっても宿泊療養を原則としているが、自宅療養が減らない要因として、同居家族に子ども、高齢者、障がい者がいる場合、その家族を残して安心して療養できないという問題がある。一方、同居家族がいると、隔離、食事や風呂・トイレなどの

PCR検査は受けやすくなったか?

3、4カ月前に比べ、PCR検査数は格段に増えた。しかし、無症状の人に対する検査は、医師が必要と判断した場合を除き検査の対象にはならない。「職場等で感染者が出て、マスクをしていないで濃厚接触者にあたらなかった」と言われた「症状が軽いので様子を見るよう言われた」など、検査の希望や要望に对应していないという訴えがある。感染拡大を抑えるには、検査を広げる必要がある。

地域で暮らす高齢者や障がい者を支える介護・介助従事者は、感染しない、させないために細心の注意を払い予防対策をしながら日々ケアを行っている。特に、感染すると重症化しやすい障がい者や、介護従事者・事業者からは定期的なPCR検査の要望がある。東京都は、医療崩壊を防ぎ、リスクの高い高齢者、障がい者への感染を防ぐためにも、行政検査の対象を広げ

地域で支えあう——府中発 多様な住まい方と居場所づくり始動!

府中・生活者ネットワーク 府中市議会議員 奥村さち子

府中・生活者ネットワークの福祉部会と、運動グループとして地域活動を連携してきた府中地域協議会では、地域との交流が途絶えがちだったり、孤立や不安を抱えて暮らしている人たちへの対策を、地域の課題と捉えて活動してきました。

市民が実現した地域づくりの拠点「えんがわ家」を見学

昨年10月に、三鷹市新川で地域の居場所づくりを実践している「えんがわ家」を訪問。一般社団法人ENGAWA代表理事の若島さんに、地域の人が主役でつくる「えんがわ家」のこれからビジョンをうかがった



三鷹市新川で地域の居場所づくりを実践している「えんがわ家」を訪問。一般社団法人ENGAWA代表理事の若島さんに、地域の人が主役でつくる「えんがわ家」のこれからビジョンをうかがった

都政 NOW 区市とつなぐ